

日本微生物資源学会第21回大会プログラム・要旨

会 期：平成26年9月2日（火）～4日（木）

会 場：東京農業大学世田谷キャンパス（東京都世田谷区桜丘1-1-1）

大会事務局：〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 東京農業大学菌株保存室

Tel. 03-5477-2549 Fax. 03-5477-2537 e-mail. nric@nodai.ac.jp

（大会長）岡田早苗（大会準備担当）田中尚人

参 加 費：事前振込み 会員：5,000円，非会員：7,000円，学生：1,000円，懇親会費：5,000円

当日払い 会員：6,000円，非会員：9,000円，学生：1,000円，懇親会費：6,000円

（会員は本学会会員および日本微生物系統分類研究会会員です。）

振込口座：【ゆうちょ銀行から振り込まれる場合】

口座記号番号：00130-1-419202

口座名称：ニホンビセイブツシゲンガツカイダイニジュウイチカ（日本微生物資源学会第21回大会）

【他金融機関から振り込まれる場合】

銀行名：ゆうちょ銀行

店 名：〇一九（ゼロイチキュウ）

店 番：019

預金種目：当座

口座番号：0419202

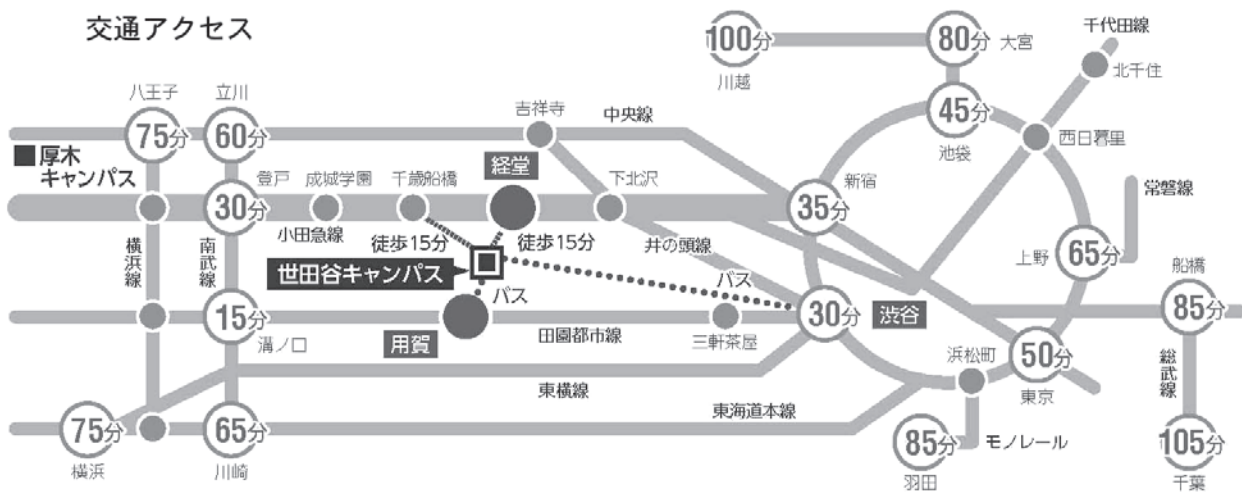
口座名称：ニホンビセイブツシゲンガツカイダイニジュウイチカ（日本微生物資源学会第21回大会）

注 意 事 項：会場（教室やラウンジ）での飲食はできますが、ごみの廃棄にはご協力をお願い致します。

クロークに預けた荷物の引き取りはその当日のプログラム終了時までにお問い合わせ致します。

会場案内：

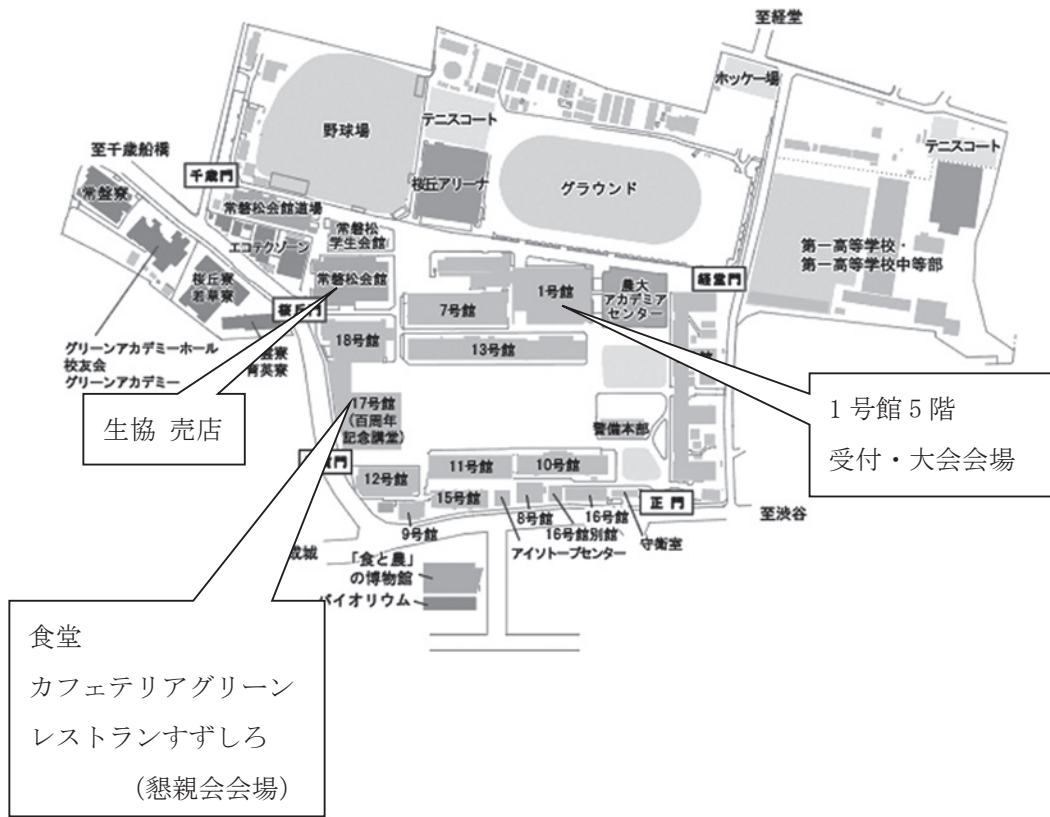
東京農業大学世田谷キャンパスのアクセス



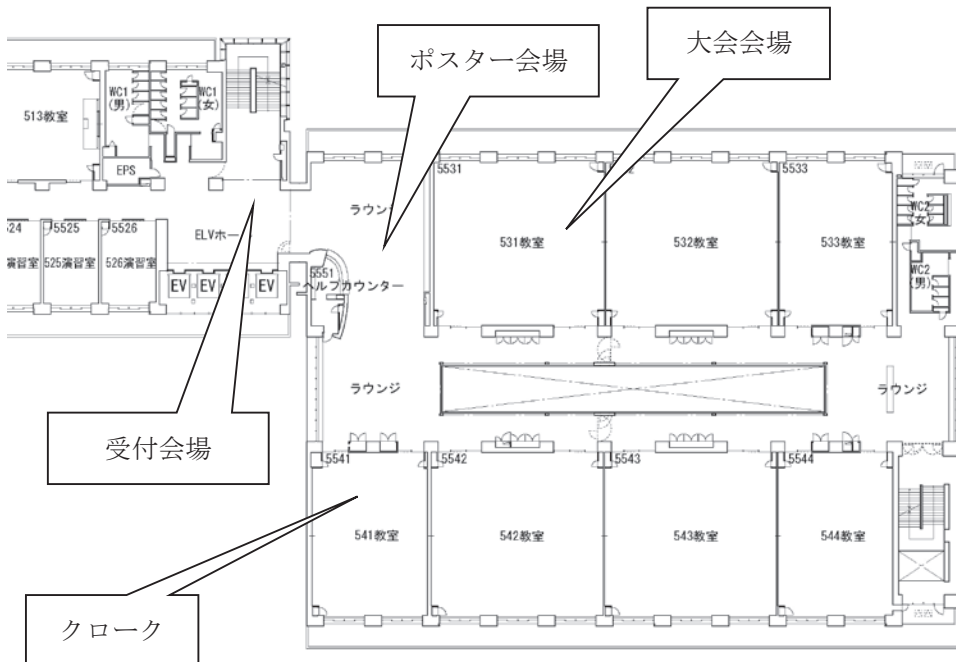
1. 渋谷方面より
 バス<渋谷駅⇒農大前> (約30分)
 小田急バス, 東急バス
 (渋23) 祖師ヶ谷大蔵駅行
 (渋24) 成城学園前駅西口行
 (渋26) 調布駅南口行
2. 新宿・町田方面より
 小田急線
 経堂駅下車 (徒歩15分)
 千歳船橋駅下車 (徒歩15分)
3. 横浜方面より
 東急田園都市線
 用賀駅下車 (徒歩20分, バス10分)
 <用賀駅⇒農大前>
 (園02) 世田谷区民会館行
 (用01) 祖師ヶ谷大蔵駅行



東京農業大学世田谷キャンパスマップ



大会会場案内図 (1号館5階)



プログラム概要：

9月2日（火）

13：00～14：30	編集委員会	542教室
14：30～16：00	カルチャーコレクション委員会	542教室
16：00～18：00	理事会	542教室

9月3日（水）

9：20～9：30	開会の挨拶	531教室
9：30～11：00	実務ワークショップ	531教室
11：00～12：00	ポスター	ラウンジ
13：00～15：00	微生物資源シンポジウム	531教室
15：20～16：10	総会・授賞式	531教室
16：20～17：50	受賞講演	531教室
18：00～20：00	懇親会（レストランすずしろ）	

9月4日（木）

9：15～11：00	一般講演	531教室
11：15～13：15	系統分類シンポジウム	531教室
13：15～13：30	閉会の挨拶	531教室

ポスター発表について：

ポスターはA0サイズ（縦）以内で作成してください。固定用のテープは会場に準備します。9月3日11：00までに発表者自身で掲示してください。また、大会終了時までに撤去してください。

口頭発表について：

USBメモリでデータをご持参頂き、会場設置のパソコン（Windows 7, PowerPoint 2010）をご利用ください。もしくは各自のパソコンをご使用ください。その場合は必要に応じて（特にMacintoshの場合）ミニD-Sub 15ピン・コネクタに対応するよう準備をお願いします。

プログラム：

[実務ワークショップ]（9月3日 9：30～11：00） 531教室

「微生物管理における学名に関する問題点」

微生物を管理していくうえで、学名というのは学問的にも、または法律的にも非常に大きな意味を持ちます。それぞれの学名は永久不滅のものではなく、科学の発達とともにいくつもの変遷をたどってきました。学名上の混乱は、業務の混乱を引き起こします。学名の入門的なことも含め、学名にまつわる問題点と解決に向けた活動について、3名の識者の方に解説していただきます。

1. 真菌類の二重命名法の廃止に伴う学名統一議論の動向～いもち病菌等を例に～
青木孝之（農業生物資源研究所遺伝資源センター）

2. 微細藻類の学名のタイプをめぐる諸問題

仲田崇志（慶應義塾大学政策・メディア研究科先端生命科学研究プログラム/先端生命科学研究科）

3. *Candida* 属とは何か？～命名法改訂がもたらす酵母学名の再編～

遠藤力也（理化学研究所バイオリソースセンター）

[ポスター発表]（9月3日 11：00～12：00） ラウンジ

P-1 醤油諸味から分離されたヒスタミン生成乳酸菌の性質
○辻 聡¹，松中佑也²，牧田紗知¹，舘 博¹

¹東京農業大学短期大学部醸造学科，²東京農業大学応用生物科学部醸造科学科

- P-2 宮古島のマングローブに生息するカビの分布とセルロース分解能の検討
○菊地淳史¹, 田中尚人², 梶川揚申¹, 佐藤英一¹, 岡田早苗^{1,2}
¹東京農業大学応用生物科学部生物応用化学科, ²東京農業大学菌株保存室
- P-3 *Armadillidium vulgare* (オカダンゴムシ) 排泄物を分離源とした細菌の分離と解析
○飯田敏也, 國則成史, 工藤卓二, 大熊盛也
理研 BRC-JCM
- P-4 インドネシア産のニワトリ盲腸内から分離した嫌気性細菌の分類学的研究
○入澤友啓¹, Sugiyono Saputra², 坂本光央¹, 北原真樹¹, Sulistiani², Titin Yulinery², Achmad Dinoto², 大熊盛也¹
¹理研 BRC-JCM, ²Microbiology Division, Research Center for Biology, Indonesian Institute of Sciences (LIPI)
- P-5 *Chloroflexi* 門・*Ktedonobacteria* 綱に属する *Thermosporothrix* 属の分離
○矢部修平¹, 酒井康輝¹, Ricky Karta Atmadja², Abinubli Tariswafi Mawarid², 葉坂 勝¹, 横田 明²
¹株式会社県南衛生工業ハザカプラント研究所, ²Faculty of Mathematics and Natural Sciences, University of Indonesia
- P-6 タイ発酵食品から分離した乳酸菌 3 新種について
○宮下美香¹, Pattaraporn Yukphan², Winai Chaipitakchonlatarn², Taweesak Malimas², 杉本昌子¹, 吉野真由美¹, 鎌倉由紀¹, Wanchern Potacharoen², Somboon Tanasupawat³, 田中尚人⁴, 中川恭好¹, 鈴木健一郎¹
¹独・製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター (NBRC), ²National Center for Genetic Engineering and Biotechnology (BIOTEC), ³Chulalongkorn University, ⁴東京農業大学菌株保存室
- P-7 酸性飲料より分離された新規 *Alicyclobacillus* 属の分類学的研究
○中野千紗¹, 高橋尚人¹, 田中尚人², 岡田早苗^{2,3}
¹カゴメ株式会社, ²東京農業大学菌株保存室, ³東京農業大学応用生物科学部生物応用化学科
- P-8 北海道の温泉から分離した微好気性 *Thermus* 属菌株の分類学的研究
○伊藤 隆¹, 塚田真見^{1,2}, 佐野充佳^{1,2}, 高品知典², 工藤卓二¹, 大熊盛也¹
¹理研 BRC-JCM, ²東洋大学生命科学部
- P-9 多遺伝子座配列解析による嫌気性グラム陰性桿菌の分子系統
○坂本光央, 大熊盛也
理研 BRC-JCM
- P-10 *Colletotrichum boninense* および *C. dematium* 種複合体に所属する NIAS Genebank 保有菌株の分子再同定
○佐藤豊三¹, 森脇丈治², 澤田宏之¹, 永井利郎¹, 一木 (植原) 珠樹¹, 青木孝之¹
¹農業生物資源研究所, ²農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センター
- P-11 NBRC 担子菌株に対するパーライト法の効果の検証その 1
○佐藤真則¹, 佐々木友美¹, 井上竜太郎¹, 資延淳二², 稲葉重樹², 中桐 昭³
¹独・製品評価技術基盤機構特許微生物寄託センター, ²独・製品評価技術基盤機構生物資源課, ³鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター
- P-12 L-乾燥アンブル作製に用いられる細胞保護剤の種類がゲノム配列に及ぼす影響
○下平 潤, 佐藤真則, 安樂 茜, 橋本麻衣子, 平方里美, 細山 哲, 内野佳仁, 山副敦司, 藤田信之
独・製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター (NBRC)

- P-13 *Colletotrichum gloeosporioides* 種複合体に属するニチニチソウ炭疽病菌の硝酸塩利用能欠損変異株
○富岡啓介, 野見山孝司, 関口博之, 大崎秀樹, 竹原利明
農業・食品産業技術総合研究機構近畿中国四国農業研究センター
- P-14 納豆菌ファージ JNDMP のクリアプラーク変異株
○永井利郎, 一木(植原)珠樹, 澤田宏之, 青木孝之, 佐藤豊三
農業生物資源研究所遺伝資源センター
- P-15 農業生物資源ジーンバンクが保有する植物ウイルス株の特性評価
(1) コートプロテイン遺伝子の効率的シークエンシング
○一木(植原)珠樹, 青木孝之, 澤田宏之, 永井利郎, 佐藤豊三, 花田 薫, 藪中恭子, 杉本るり子, 大橋美保, 中島比呂美, 熊谷みどり, 竹谷 勝, 山崎福容, 根本 博
農業生物資源研究所遺伝資源研究センター
- P-16 2013年度のFMRC活動報告と展望について
○中桐 昭, 早乙女梢, 前川二太郎, 牛島秀爾, 岡久美子
鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター
- P-17 農業生物資源ジーンバンク事業の微生物部門(MAFF)における2013年の活動と成果
○青木孝之, 一木(植原)珠樹, 澤田宏之, 永井利郎, 佐藤豊三, 竹谷 勝, 山崎福容, 中島比呂美, 熊谷みどり, 根本 博
農業生物資源研究所遺伝資源研究センター
- P-18 NBRCカルチャーコレクション平成25年度事業報告
○崎山弥生, 藤田克利, 鎌田 幸, 中川恭好, 山崎秀司, 鈴木健一郎, 中川純一
独・製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター(NBRC)
- P-19 NIES藻類コレクションの2013年度活動報告
○森 史¹, 湯本康盛¹, 石本美和¹, ノエル マリーエレン², 佐藤真由美², 河地正伸²
¹財・地球・人間環境フォーラム, ²独・国立環境研究所
- P-20 乳酸菌株資源の高付加価値化に向けて
○田中尚人¹, 鈴木智典², 富田 理³, 梶川揚申⁴, 内野昌孝⁴, 佐藤英一⁴, 五十君静信⁵, 岡田早苗^{1,4}
¹東京農業大学菌株保存室, ²東京農業大学応用生物科学部食品安全健康学科, ³農研機構食品総合研究所, ⁴東京農業大学応用生物科学部生物応用化学科, ⁵国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部

[微生物資源シンポジウム] (9月3日 13:00~15:00) 531教室

「資源の開拓から実用化へ向けて」 コンビナー: 岡田早苗, 田中尚人

微生物資源の重要性は認識され、現在はカルチャーコレクションの役割も大きくなってきています。それに加えて、今後は収集された微生物資源をいかに活用していくか、技術開発等への貢献も必要になると考えられます。そこで本シンポジウムでは様々な資源利用に関する研究をされている4名の先生方に資源の実用化についてご講演していただきます。

S1-1 (13:00~13:30)

微細藻類ユーグレナによる有用物質生産の現状と将来の可能性

鈴木健吾

株式会社ユーグレナ

S1-2 (13:30~14:00)

伝統発酵漬物(すんき漬)の機能性乳酸菌を用いた発酵豆乳の作製

保井久子

木曾町地域資源研究所

- S1-3 (14:00 ~ 14:30)
発電微生物
渡邊一哉
東京薬科大学生命科学部応用生命科学科
- S1-4 (14:30 ~ 15:00)
草木材からエタノールをつくる触媒技術の実用化展開
市川 勝
北海道大学名誉教授

[学会賞受賞講演] (9月3日 16:20 ~ 17:20) 531 教室
厄介な菌株の保存に取り組んで—真菌類培養株の保存法の改良—
中桐 昭
鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター

[奨励賞受賞講演] (9月3日 17:20 ~ 17:50) 531 教室
Phylum *Bacteroidetes* と酢酸菌に関する分類学的研究
村松由貴
独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター

[一般講演] (9月4日 9:15 ~ 11:00) 531 教室

- O-1 (9:15 ~ 9:30)
ナガキクイムシ複合共生系から微生物資源を獲る
○遠藤力也¹, 升屋勇人², 大熊盛也¹
¹理研 BRC-JCM, ²森林総合研究所
- O-2 (9:30 ~ 9:45)
木曾町土壌からの枯草菌の分離とその特性調査
○青島一紀¹, 稲垣秀一郎¹, 保井久子²
¹信州大学大学院機能性食料開発学専攻, ²木曾町地域資源研究所
- O-3 (9:45 ~ 10:00)
西表島からの *Demeghinaceae* 科放線菌の分離とゲノム情報を利用した分類研究
○浜田盛之, 柴田千代, 市川夏子, 細山 哲, 小牧久幸, 田村朋彦, 藤田信之, 鈴木健一朗
独・製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター (NBRC)
- O-4 (10:00 ~ 10:15)
Bacteroidales 目に属する鉄腐食細菌およびその関連菌
○飯野隆夫¹, 森 浩二², 伊藤 隆¹, 工藤卓二¹, 鈴木健一朗², 大熊盛也¹
¹理研 BRC-JCM, ²独・製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター (NBRC)
- O-5 (10:15 ~ 10:30)
緑藻群体性ボルボックス目の新属2種の分類と分布
○野崎久義¹, 山田敏寛¹, 高橋文雄², 松崎 令¹, 仲田崇志³
¹東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻, ²立命館大学生命科学部, ³慶應義塾大学政策・メディア研究科先端生命科学研究プログラム/先端生命科学研究所
- O-6 (10:30 ~ 10:45)
氷雪性緑藻クロロモナス属の培養株のみを用いた種の識別
○松崎 令^{1*}, 原 慶明², 野崎久義¹
¹東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻, ²山形大学基盤教育院

O-7 (10:45 ~ 11:00)

担子菌に関する L-乾燥法の研究その 1

○佐藤真則¹, 猪野悠梨佳¹, 資延淳二², 稲葉重樹², 中桐 昭³

¹ 独・製品評価技術基盤機構特許微生物寄託センター, ² 独・製品評価技術基盤機構生物資源課,

³ 鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター

[系統分類シンポジウム] (9月4日 11:15 ~ 13:15) 531 教室 (協賛: 日本微生物系統分類研究会)

「新しい微生物同定のための機器分析, MALDI-TOF/MS の利用と展開」 コンビナー: 川崎浩子

近年, マトリックス支援レーザー脱離イオン化質量分析 (MALDI-TOF/MS) を用いた微生物迅速同定法が, 新しい微生物同定法として注目を浴びています. 臨床微生物検査の現場ではすでにその使用が開始されております. 現在, 微生物を管理し提供するカルチャーコレクションの分野や食品企業などの品質管理分野では, 一部その導入が始まっているところです. 一方, MALDI-TOF/MS を用いたタンパク質の指紋判定による微生物同定法には, 前処理手法, データベースの構築, 実験結果のばらつき等, 課題も多いところであります. そこで, この度, 微生物資源の品質管理をいち早く導入されヨーロッパでその普及に努められてきた, ドイツ DSMZ の Peter Schumann 博士と, ポルトガル Minho 大学の Nelson Lima 教授と Cledir Santos 博士を招いて, バクテリアから真菌類までの幅広い微生物の同定について, 本手法の取り組みと現状についてご講演いただくこととしました. さらに, 名城大学の田村廣人教授には, 既存の MALDI TOF/MS を用いた微生物同定法の課題を克服する手法について, 研究成果と今後の展開についてご講演いただく予定です. 本手法で世界をリードする 4 名の先生方が一堂に会してご講演いただく日本で初めての機会です.

S2-1 (11:15 ~ 11:45)

Application of MALDI-TOF MS in the quality control of culture collections

Peter Schumann

Leibniz Institute DSMZ-German Collection of Microorganisms and Cell Cultures, Braunschweig, Germany

S2-2 (11:45 ~ 12:15)

Nuances on the application of MALDI-TOF Mass Spectrometry for the microbial identification

○Cledir Santos^{1,2}, Nelson Lima¹

¹Micoteca da Universidade do Minho, Centre of Biological Engineering, Braga, Portugal, ²Post-Graduate Programme in Agricultural Microbiology, Federal University of Lavras, Lavras, MG, Brazil

S2-3 (12:15 ~ 12:45)

Next-generation of omics for microbial identification and characterization: what is needed?

○Nelson Lima¹, Cledir Santos^{1,2}

¹Micoteca da Universidade do Minho, Centre of Biological Engineering, Braga, Portugal, ²Post-Graduate Programme in Agricultural Microbiology, Federal University of Lavras, Lavras, MG, Brazil

S2-4 (12:45 ~ 13:15)

The challenge to proteotyping of bacteria based upon the *SIO*-GERMS method

Hiroto Tamura

Meijo University, Nagoya, Japan

(本シンポジウムは公益財団法人発酵研究所 IFO の助成を受けています.)

The 21st Annual Meeting of the Japan Society for Culture Collections

Time schedule

Tuesday, September 2

13 : 00-14 : 30	Editorial Committee Meeting	Room 542
14 : 30-16 : 00	Culture Collection Business Meeting	Room 542
16 : 00-18 : 00	Board Meeting	Room 542

Wednesday, September 3

9 : 20- 9 : 30	Opening Remarks	Room 531
9 : 30-11 : 00	Culture Collection Business Workshop	Room 531
11 : 00-12 : 00	Poster Session	Lounge
13 : 00-15 : 00	Symposium on Microbial Resources	Room 531
15 : 20-16 : 10	Plenary Meeting	Room 531
16 : 20-17 : 50	Award Lecture	Room 531
18 : 00-20 : 00	Banquet	

Thursday, September 4

9 : 15-11 : 00	Oral Presentation	Room 531
11 : 15-13 : 15	Symposium on Systematics	Room 531
13 : 15-13 : 30	Closing Address	Room 531

Program

[Culture Collection Business Workshop] (September 3, 9 : 30-11 : 00) Room 531

1. Current situation of discussion toward uniforming fungal scientific names, based on discontinuance of the dual naming system of fungi according to the nomenclatural code
Takayuki Aoki
Genetic Resources Center, National Institute of Agrobiological Sciences
2. Problems and confusions on the types of microalgal names
Takashi Nakada
Systems Biology Program, Graduate School of Media and Governance/Institute for Advanced Biosciences, Keio University
3. What is the genus *Candida*? — Name change of yeasts required in accordance with the revision of the international code of nomenclature —
Rikiya Endoh
Japan Collection of Microorganisms, RIKEN BioResource Center

[Poster Session] (September 3, 11 : 00-12 : 00) Lounge

- P-1 Characterization of histamine producing lactic acid bacteria isolated from soy sauce mashe
○ Akira Tsuji¹, Yuya Matsunaka², Sachi Makita¹, Hiroshi Tachi¹
¹Department of Brewing and Fermentation, Junior College of Tokyo University of Agriculture,
²Department of Fermentation Science, Tokyo University of Agriculture

- P-2 Isolation and characterization of molds from mangrove ecosystems in Miyako Island
○ Atsushi Kikuchi¹, Naoto Tanaka², Akinobu Kajikawa¹, Eiichi Satoh¹, Sanae Okada^{1,2}
¹Department of Applied Biology and Chemistry, Faculty of Applied Bioscience, Tokyo University of Agriculture, ²NODAI Culture Collection Center (NRIC), Tokyo University of Agriculture
- P-3 Isolation and characterization of bacteria from the feces of *Armadillidium vulgare*
○ Toshiya Iida, Masafumi Kuninori, Takuji Kudo, Moriya Ohkuma
RIKEN BioResource Center
- P-4 Taxonomic study on anaerobic bacteria isolated from cecum of Indonesian chicken
○ Tomohiro Irisawa¹, Sugiyono Saputra², Mitsuo Sakamoto¹, Maki Kitahara¹, Sulistiani², Titin Yulinery², Achmad Dinoto², Moriya Ohkuma¹
¹Microbe Division/Japan Collection of Microorganisms, RIKEN BioResource Center, ²Microbiology Division, Research Center for Biology, Indonesian Institute of Sciences (LIPI)
- P-5 Isolation of *Thermosporothrix* sp. belonging to the class *Ktedonobacteria* in the phylum *Chloroflexi*
○ Shuhei Yabe¹, Yasuteru Sakai¹, Ricky Karta Atmadja², Abinubli Tariswafi Mawarid², Masaru Hazaka¹
¹Kennan Eisei Kogyo, Co., Ltd., Hazaka Plant Research Center, ²Faculty of Mathematics and Natural Sciences, University of Indonesia
- P-6 Three novel species of lactic acid bacteria isolated from fermented foods in Thailand
○ Mika Miyashita¹, Pattaraporn Yukphan², Winai Chaipitakchonlatarn², Taweesak Malimas², Masako Sugimoto¹, Mayumi Yoshino¹, Yuki Kamakura¹, Wanchern Potacharoen², Somboon Tanasupawat³, Naoto Tanaka⁴, Yasuyoshi Nakagawa¹, Ken-ichiro Suzuki¹
¹NITE Biological Resource Center (NBRC), ²National Center for Genetic Engineering and Biotechnology (BIOTEC), ³Chulalongkorn University, ⁴NODAI Culture Collection Center
- P-7 Phylogenetic study of a new species of the genus *Alicyclobacillus* isolated from an acidic beverage
○ Chisa Nakano¹, Naoto Takahashi¹, Naoto Tanaka², Sanae Okada^{2,3}
¹KAGOME CO., LTD., ²NODAI Culture Collection Center (NRIC), Tokyo University of Agriculture, ³Department of Applied Biology and Chemistry, Faculty of Applied Bioscience, Tokyo University of Agriculture
- P-8 Taxonomic characterization of a microaerophilic strain of the genus *Thermus* isolated from a hot spring in Hokkaido
○ Takashi Itoh¹, Mami Tsukada^{1,2}, Mituyoshi Sano^{1,2}, Tomonori Takashina², Takuji Kudo¹, Moriya Ohkuma¹
¹Microbe Division/Japan Collection of Microorganisms, RIKEN BioResource Center, ²Faculty of Life Science, Toyo University
- P-9 Multilocus sequence analysis (MLSA) of the genus *Bacteroides* and related taxa by using the *dnaJ*, *gyrB*, *hsp60*, *recA*, *rpoB*, and 16S rRNA genes
○ Mitsuo Sakamoto, Moriya Ohkuma
Microbe Division/Japan Collection of Microorganisms, RIKEN BioResource Center

- P-10 Molecular re-identification of MAFF (NIAS Genebank) strains belonging to the *Colletotrichum boninense* and *C. dematium* species complex
 ○ Toyozo Sato¹, Jouji Moriwaki², Hiroyuki Sawada¹, Toshirou Nagai¹, Tamaki Uehara-Ichiki¹, Takayuki Aoki¹
¹National Institute of Agrobiological Sciences, ²Kyushu Okinawa Agricultural Research Center, National Agriculture and Food Research Organization
- P-11 Validation of perlite protocol for NBRC basidiomycetes strains (I)
 ○ Masanori Sato¹, Tomomi Sasaki¹, Ryutarō Inoue¹, Junji Sukenobe², Sigeki Inaba², Akira Nakagiri³
¹NITE Patent Microorganisms Depository, ²NITE Biological Resource Center, ³Fungus/Mushroom Resource and Research Center, Faculty of Agriculture, Tottori University
- P-12 Genome-wide comparison between *Escherichia coli* cultures, which were preserved by liquid drying methods using different cytoprotective agents
 ○ Jun Shimodaira, Masanori Sato, Akane Anraku, Maiko Hashimoto, Satomi Hirakata, Akira Hosoyama, Yoshihito Uchino, Atsushi Yamozoe, Nobuyuki Fujita
 Department of Biotechnology, National Institute of Technology and Evaluation
- P-13 Nitrate non-utilizing mutants from the causal agents of Madagascar periwinkle anthracnose belonging to the *Colletotrichum gloeosporioides* species complex
 ○ Keisuke Tomioka, Koji Nomiyama, Hiroyuki Sekiguchi, Hideki Osaki, Toshiaki Takehara
 Western Region Agricultural Research Center, National Agriculture and Food Research Organization
- P-14 Clear-plaque mutants of a *Bacillus subtilis* (*natto*) phage, JNDMP
 ○ Toshirou Nagai, Tamaki Uehara-Ichiki, Hiroyuki Sawada, Takayuki Aoki, Toyozo Sato
 Genetic Resources Center, National Institute of Agrobiological Sciences
- P-15 Characterization of plant viral strains preserved in the NIAS Genebank (MAFF)
 (I) Sequencing of viral capsid/coat proteins in NIAS Genebank
 ○ Tamaki Uehara-Ichiki, Takayuki Aoki, Hiroyuki Sawada, Toshirou Nagai, Toyozo Sato, Kaoru Hanada, Kyoko Yabunaka, Ruriko Sugimoto, Miho Ohashi, Hiromi Nakajima, Midori Kumagai, Masaru Takeya, Fukuhiro Yamasaki, Hiroshi Nemoto
 Genetic Resources Center, National Institute of Agrobiological Sciences
- P-16 FMRC annual report 2013 f. y. and prospects
 ○ Akira Nakagiri, Kozue Sotome, Nitaro Maekawa, Shuji Ushijima, Kumiko Oka
 Fungus/Mushroom Resource and Research Center, Faculty of Agriculture, Tottori University
- P-17 Activity of the Microorganism Section of the NIAS Genebank (MAFF) in FY 2013
 ○ Takayuki Aoki, Tamaki Uehara-Ichiki, Hiroyuki Sawada, Toshirou Nagai, Toyozo Sato, Masaru Takeya, Fukuhiro Yamasaki, Hiromi Nakajima, Midori Kumagai, Hiroshi Nemoto
 Genetic Resources Center, National Institute of Agrobiological Sciences
- P-18 Annual report of NBRC culture collection in FY2013
 ○ Yayoi Sakiyama, Katsutoshi Fujita, Sachi Kamata, Yasuyoshi Nakagawa, Shuji Yamazaki, Ken-ichiro Suzuki, Junichi Nakagawa
 NITE Biological Resource Center (NBRC), National Institute of Technology and Evaluation (NITE)

- P-19 NIES Collection activity report for 2013
○ Fumi Mori¹, Kosei Yumoto¹, Miwa Ishimoto¹, Mary-Helene Noel², Mayumi Sato², Masanobu Kawachi²
¹Global Environmental Forum, ²National Institute for Environmental Studies
- P-20 Generation of value-added lactic acid bacterium strains as bio-resources
○ Naoto Tanaka¹, Tomonori Suzuki², Satoru Tomita³, Akinobu Kajikawa⁴, Masataka Uchino⁴, Eiichi Satoh⁴, Shizunobu Igimi⁵, Sanae Okada^{1,4}
¹NODAI Culture Collection Center (NRIC), Tokyo University of Agriculture, ²Department of Nutritional Science and Food Safety, Faculty of Applied Bioscience, Tokyo University of Agriculture, ³National Food Research Institute, National Agriculture and Food Research Organization, ⁴Department of Applied Biology and Chemistry, Faculty of Applied Bioscience, Tokyo University of Agriculture, ⁵Division of Biomedical Food Research, National Institute of Health Sciences

[Symposium on Microbial Resources] (September 3, 13 : 00-15 : 00) Room 531

Conveners: Sanae Okada, Naoto Tanaka

- S1-1 (13 : 00-13 : 30)
The current state and future possibilities of useful material production from the microalga *Euglena*
Kengo Suzuki
euglena Co., Ltd
- S1-2 (13 : 30-14 : 00)
Production of fermented soymilk using functional lactic acid bacteria isolated from traditional fermented vegetable pickle, the 'Sunki pickle'
Hisako Yasui
Kiso town area resource institute
- S1-3 (14 : 00-14 : 30)
Electricity-generating microbes
Kazuya Watanabe
School of Life Sciences, Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences
- S1-4 (14 : 30-15 : 00)
Industrial development of catalytic technology for direct ethanol production from non-food biomass
Masaru Ichikawa
Emeritus Professor of Hokkaido University

[Award Lecture] (September 3, 16 : 20-17 : 50) Room 531

1. (16 : 20-17 : 20)
Struggling with troublesome fungal strains for preservation
— Improvement of preservation methods for various fungal cultures —
Akira Nakagiri
Fungus/Mushroom Resource and Research Center (FMRC), Faculty of Agriculture, Tottori University
2. (17 : 20-17 : 50)
Taxonomic studies of the phylum *Bacteroidetes* and acetic acid bacteria
Yuki Muramatsu
NITE Biological Resource Center (NBRC), National Institute of Technology and Evaluation (NITE)

[Oral Presentation] (September 4, 9 : 15-11 : 00) Room 531

- O-1 (9 : 15-9 : 30)
Exploring microbial resources from the multi-partite symbiotic system of platypodid beetles
○ Rikiya Endoh¹, Hayato Masuya², Moriya Ohkuma¹
¹RIKEN BRC-JCM, ²Forestry and Forest Products Research Institute (FFPRI)
- O-2 (9 : 30-9 : 45)
Isolation and characterization of *Bacillus subtilis* from soil of Kiso town
○ Kazuki Aosima¹, Shyuichiro Inagaki¹, Hisako Yasu²
¹Department of Sciences of Functional Foods, Graduate School of Agriculture, Shinshu University, ²Kiso town area resoueces institute
- O-3 (9 : 45-10 : 00)
Isolation of actinobacteria belonging to the family *Demequinaceae* from Iriomote Island and their taxonomic study using the genome information
○ Moriyuki Hamada, Chiyo Shibata, Natsuko Ichikawa, Akira Hosoyama, Hisayuki Komaki, Tomohiko Tamura, Nobuyuki Fujita, Ken-ichiro Suzuki
NITE Biological Resource Center, National Institute of Technology and Evaluation (NBRC)
- O-4 (10 : 00-10 : 15)
Iron-corroding bacteria and phylogenetically related bacteria belonging to the order *Bacteroidales*
○ Takao Iino¹, Koji Mori², Takashi Itoh¹, Takuji Kudo¹, Ken-ichiro Suzuki², Moriya Ohkuma¹
¹RIKEN-BRC JCM, ²NITE Biological Resource Center, National Institute of Technology and Evaluation (NBRC)
- O-5 (10 : 15-10 : 30)
Taxonomy and distribution of two species of a new gnus in the colonial Volvocales
○ Hisayoshi Nozaki¹, Toshihiro K. Yamada¹, Fumio Takahashi², Ryo Matsuzaki¹, Takashi Nakada³
¹Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, University of Tokyo, ²College of Life Sciences, Ritsumeikan University, ³ Systems Biology Program, Graduate School of Media and Governance/Institute for Advanced Biosciences, Keio University
- O-6 (10 : 30-10 : 45)
Species identification of green algae genus *Chloromonas* growing on snow, based on only culture strains
○ Ryo Matsuzaki¹, Yoshiaki Hara², Hisayoshi Nozaki¹
¹Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, University of Tokyo, ²Institute of Arts and Sciences, Yamagata University
- O-7 (10 : 45-11 : 00)
L-Drying of basidiomycetes culture (1)
○ Masanori Sato¹, Yurika Ino¹, Junji Sukenobe², Shigeki Inaba², Akira Nakagiri³
¹NITE Patent Microorganisms Depository, ²NITE Biological Resource Center, ³Fungus/Mushroom Resource and Research Center, Faculty of Agriculture, Tottori University

[Symposium on Microbial Systematics] (September 4, 11 : 15-13 : 15) Room 531

(Supported by Japan Society for Microbial Systematics)

The new techniques for microbial identification by MALDI-TOF/MS

Convener: Hiroko Kawasaki

S2-1 (11 : 15-11 : 45)

Application of MALDI-TOF MS in the quality control of culture collections

Peter Schumann

Leibniz Institute DSMZ-German Collection of Microorganisms and Cell Cultures,
Braunschweig, Germany

S2-2 (11 : 45-12 : 15)

Nuances on the application of MALDI-TOF Mass Spectrometry for the microbial identification

○Cledir Santos^{1,2}, Nelson Lima¹

¹Micoteca da Universidade do Minho, Centre of Biological Engineering, Braga, Portugal, ²Post-Graduate Programme in Agricultural Microbiology, Federal University of Lavras, Lavras, MG, Brazil

S2-3 (12 : 15-12 : 45)

Next-generation of omics for microbial identification and characterization: what is needed?

○Nelson Lima¹, Cledir Santos^{1,2}

¹Micoteca da Universidade do Minho, Centre of Biological Engineering, Braga, Portugal, ²Post-Graduate Programme in Agricultural Microbiology, Federal University of Lavras, Lavras, MG, Brazil

S2-4 (12 : 45-13 : 15)

The challenge to proteotyping of bacteria based upon the *SIO*-GERMS method

Hiroto Tamura

Meijo University, Nagoya, Japan